

エコアクション 21

環 境 経 営 レ ポ ー ト



発行日 2024 年 8 月 9 日

有限会社 有松塗工店

名古屋市緑区浦里 5 丁目 269

TEL 052-629-7821

FAX 052-629-7822

目 次

1. 組織の概要、認証・登録の適用範囲
2. 環境経営方針
3. 環境管理組織体制
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画
6. 環境経営目標の実績
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果
10. その他

1 組織の概要、認証・登録の適用範囲

【事業者名】 有限会社 有松塗工店

【代表者名】 代表取締役社長 近藤博樹

【所在地】 〒458-0847 名古屋市緑区浦里 5 丁目 269

【環境管理責任者及び担当者連絡先】

環境管理責任者 近藤博樹

連絡先担当者 近藤雅子

連絡先 TEL 052-629-7821

FAX 052-629-7822

E-mail : info@arimatutokou.jp

【事業内容】 塗装工事業 防水工事業 建築工事業

・建築業許可

許可番号 愛知県知事許可(般-5)102861

許可年月日 令和 6 年 2 月 5 日

建設業の種類 塗装工事業 防水工事業 とび・土木工事業

【事業規模】 ・設立年月日 1988 年(創業 35 年)

・資本金 4000 万円

・延べ床面積 527.46 m²

・会計年度 毎年 6 月 30 日

・従業員数 35 人

【適用範囲】 EA21 対象範囲：有限会社有松塗工店 本社工事事務所・倉庫(全従業員に適用)

対象事業：建設業(塗装工事業・防水工事業・とび・土木工事業)

※一宮支店については、2 年以内に含める予定

【対象期間】 2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日

2 環境経営方針

<環境理念>

私たちは、地球温暖化や地下資源の枯渇への対応が重要課題との認識にたつて、環境負荷の低減を図るために、可能な限り、化学物質の含有率が低い塗料をお客様に提供するとともに、あらゆる資源の有効活用を積極的に行うことを通じて、環境保全活動に取り組めます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

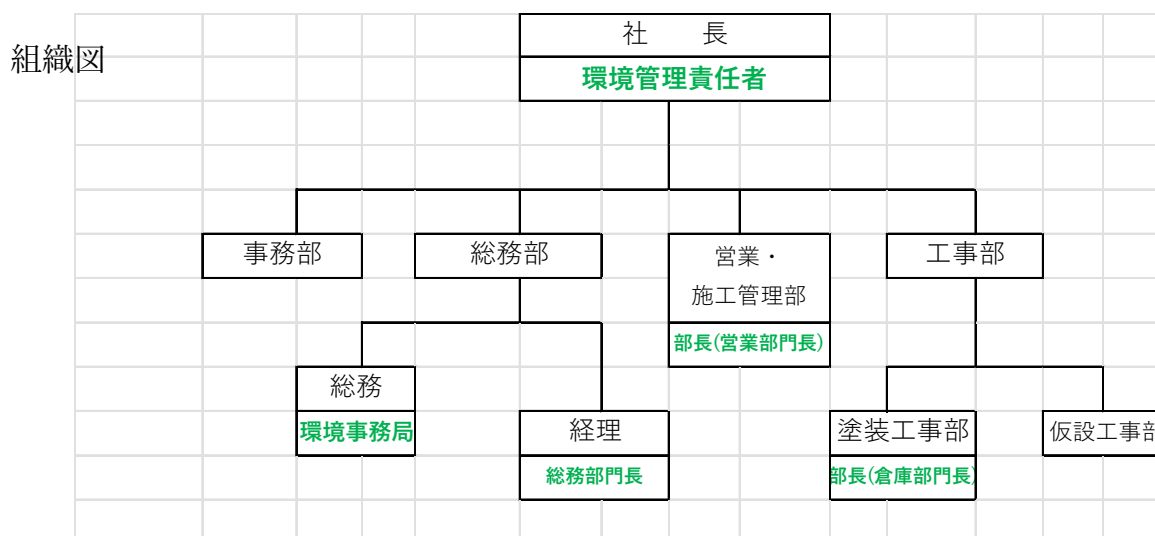
- ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ・ 電力使用量削減
 - ・ ガソリン及び軽油使用量削減
- ② 廃棄物の削減
 - ・ 一般廃棄物排出量削減
 - ・ 産業廃棄物排出量削減
- ③ 水量の削減
 - ・ 節水の啓蒙活動の実施と節水の励行
- ④ 化学物質を含む塗料等の適正管理
 - ・ 化学物質の少ない塗料の選択
- ⑤ 社会貢献
 - ・ 環境配慮型製品・設備の情報収集、検討を行う
 - ・ 地域での環境活動への積極的な参加

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ公表します。

制定日 2023 年 3 月 20 日
有限会社 有松塗工店
代表取締役社長 近藤 博樹

3 環境管理組織体制(環境経営システム組織図、役割、権限、責任等)



環境経営システム 役割・責任・権限表

代表者(社長)	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能を準備 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境目標・環境活動計画書を承認し、代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者 (社長)	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・環境活動計画書を確認し、環境活動の取組結果を代表者に報告 環境活動レポートの確認
環境事務局 (総務)	環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び取組の自己チェックの実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成及び環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーション窓口 環境活動レポートの作成・公開(事務所備付と地域事務局への送付)
部門長 (経理・営業・倉庫)	自部門における環境経営システムの実施及び環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態対応の為の手順書作成、テスト訓練を実施、記録作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、積極的に環境活動へ参加

4 環境経営目標

単年度・中長期目標 ※2021 年 7 月～2022 年 6 月の数値を基準年として環境経営目標を設定

	単位	基準年度	目標年度		
		2021	2022 (1 %削減) ※一廃 2%削減	2023 (2 %削減) ※一廃 4%削減	2024 (3 %削減) ※一廃 6%削減
【二酸化炭素排出量】					
電力使用量	kWh	18,058	17,877	17,697	17,516
ガソリン使用量	ℓ	22,538	22,312	22087	21861
軽油使用量	ℓ	7,923	7,843	7764	7685
CO2 排出量	kg-CO2	85,327	84,474	83,620	82,767
【一般廃棄物排出量】	kg	188	184	180	176
【産業廃棄物排出量】	kg	20,787	20,579	20,371	20,163
【水使用量】	m³	183	181	179	177
【化学物質使用量・自らが施工する建築物の環境性能の向上】					
塗料使用量	kg	81,221	80,408	79,596	78,784
有機溶剤(シンナー等)使用量	ℓ	1,486	1,471	1456	1441

※二酸化炭素の係数は、調整後の係数である 0.426(中部電力、2019 年実績)、0.613(ミツウロコ、2019 年実績)を基準とします

※都市ガス、LPG は使用量が少ない為、目標から抜きます

5 環境経営計画（2023 年度：2023 年 7 月～2024 年 6 月）

【CO2 排出量削減】 担当者 辻

- ・ 電力使用量削減 エアコンの温度管理体制を行う(夏季 28 度、冬季 20 度)
事務機器の節電を行う
- ・ 燃料使用量削減 移動経路等効率的な車両運転を心掛ける
アイドリングストップ運動を推進する
交通状況に応じた安全な低速走行をする
車両の定期点検を行う

【廃棄物削減】 担当者 増田

- ・ 産業廃棄物 作業員、下請け業者へ周知徹底し、リサイクル率の向上に心掛ける
マニフェストによる適正管理を徹底する
- ・ 一般廃棄物 印刷用インク等分別を行う
両面印刷、使用済みコピー用紙の裏面利用の実施
使い捨て商品を避け、詰め替え可能商品を購入する

【用水使用量削減】 担当者 羽場

- ・ 流しっぱなしにしない等節水を心掛ける
- ・ 節水を促す注意書きをする

【化学物質の適切な管理】 担当者 加藤

- ・ SDS 確認の徹底と適正管理の徹底
- ・ 塗料及び有機溶剤の在庫確認、不良在庫の削減
- ・ 水性系塗料の使用比率向上
- ・ 塗料の飛散防止対策の実施

6 環境経営目標の実績

本年度実績(2023 年度分)

	単位	基準年度	2023 年度(2023 年 7 月～2024 年 6 月)		
		2021	目標値	実績値 実績値/目標値	評価
【二酸化炭素排出量】					
電力使用量	kWh	18,058	17,697	13,777(77.84%)	○
ガソリン使用量	ℓ	22,538	22,087	25,071(113.51%)	×
軽油使用量	ℓ	7,923	7,764	10,606(136.60%)	×
CO2 排出量	kg-CO2	85,327	83,620	93,523(111.84%)	×
【一般廃棄物排出量】	kg	188	180	211.48(117.48%)	×
【産業廃棄物排出量】	kg	20,787	20,371	21,346(104.79%)	×
【水使用量】	m³	183	179	155(86.59%)	○
【化学物質使用量・自らが施工する建築物の環境性能の向上】					
塗料使用量	kg	81,221	79,596	75,387(94.78%)	○
有機溶剤(シンナー等)使用量	ℓ	1,486	1,456	1,580(108.51%)	×

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取り組み内容

対象期間：2023年7月～2024年6月

※評価 ◎良く出来た ○出来た △多少出来た X出来なかった

計画	担当者	評価		今後の取組
【CO2 排出量削減】	辻			
電力使用量削減				
・ エアコンの温度管理体制を行う(夏季28度、冬季20度)		実施されている	○	今後も継続する
・ 事務機器の節電を行う		実施されている	○	今後も継続する
燃料使用量削減				
・ 交通状況に応じた安全な低速走行をする		実施されている	○	一人一人が注意し実施する
・ 車両の定期点検を行う		定着化されている	○	今後も継続する
【廃棄物削減】	増田			
産業廃棄物				
・ 作業員、下請け業者へ周知徹底し、リサイクル率向上		実施されている	○	今後も継続する
・ マニフェストによる適正管理を徹底する		徐々に定着化している	◎	今後も継続する
一般廃棄物				
・ 印刷用インク等分別を行う		実施されている	◎	今後も継続する
・ 両面印刷、使用済みコピー用紙の裏面利用の実施		実施されている	◎	今後も継続する
・ 使い捨て商品 avoidance、詰め替え可能商品を購入する		実施されている	○	今後も継続する
【用水使用量削減】	羽場			
・ 流しっぱなしにしない等節水を心掛ける		実施されている	○	今後も継続する
・ 節水を促す注意書きをする		実施されている	○	今後も継続する
【化学物質の適切な管理】	加藤			
・ SDS 確認の徹底と適正管理の徹底		徐々に定着化している	◎	今後も継続する
・ 塗料及び有機溶剤の在庫確認、不良在庫の削減		実施されている	◎	今後も継続する
・ 塗料の飛散防止対策の実施		実施されている	○	今後も継続する

【CO2 排出量削減】 担当者 辻

- ・ 電力使用量削減 エアコンの温度管理体制を行う(夏季 28 度、冬季 20 度)
事務機器の節電を行う
- ・ 燃料使用量削減 交通状況に応じた安全な低速走行をする
車両の定期点検を行う

【廃棄物削減】 担当者 増田

- ・ 産業廃棄物 作業員、下請け業者へ周知徹底し、リサイクル率の向上に心掛ける
マニフェストによる適正管理を徹底する
- ・ 一般廃棄物 印刷用インク等分別を行う
両面印刷、使用済みコピー用紙の裏面利用の実施
使い捨て商品を避け、詰め替え可能商品を購入する

【用水使用量削減】 担当者 羽場

- ・ 流しっぱなしにしない等節水を心掛ける
- ・ 節水を促す注意書きをする

【化学物質の適切な管理】 担当者 加藤

- ・ SDS 確認の徹底と適正管理の徹底
- ・ 塗料の在庫確認、不良在庫の削減
- ・ 水性系塗料の使用比率向上
- ・ 塗料の飛散防止対策の実施

次年度環境経営目標

単年度・中長期目標 ※2023 年 7 月～2024 年 6 月の数値を基準年として環境経営目標を設定

	単位	基準年度	目標年度		
		2023	2024	2025	2026
		実績値	(1%削減) ※一廃 2%削減	(1%削減) ※一廃 2%削減	(1%削減) ※一廃 2%削減
【二酸化炭素排出量】					
電力使用量	kWh	13,777	13,639	13,503	13,368
ガソリン使用量	ℓ	25,071	24,820	24,572	24,326
軽油使用量	ℓ	10,606	10,500	10,395	10,291
CO2 排出量	kg-CO2	93,523	92,588	91,662	90,745
【一般廃棄物排出量】	kg	211.48	207.25	203.10	199.04
【産業廃棄物排出量】	kg	21,346	21,133	20,922	20,713
【水使用量】	m³	155	153	151	149
【化学物質使用量】					
塗料使用量	kg	75,387	74,633	73,887	73,148
有機溶剤(シンナー等)使用量	ℓ	1,580	1,564	1,548	1,533

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。

関連法	法規制の対象施設・業務等
大気汚染防止法	建築物の解体、改修工事
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物（廃プラ）の排出
名古屋市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例	産廃業者の実地確認
消防法	消防訓練
（名古屋市）環境保全条例	自動車のアイドリングストップ
自動車リサイクル法	廃車
家電リサイクル法	冷蔵庫、エアコン等の廃棄
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、消防法の一部に不備がありましたが、現在対応中です。

なお、訴訟等は過去3年間ありませんでした。

9 代表者による全体評価と見直しの結果

〔環境管理責任者による報告〕 見直しに必要な措置

2024 年 7 月 10 日

【取組状況の報告】

- ・ 関連法規等の遵守状況 消防法一部に不備はありましたが現在対応中です。
- ・ 問題点の是正処置状況 環境関連法規等の逸脱、問題点はありません。
- ・ 今回までの社長の指示事項への対応 定期的に確認をしていきます。

【目標・環境活動計画の達成状況】

	目 標 達 成 状 況	環 境 経 営 達 成 状 況	コ メ ン ト
二酸化炭素削減	×	○	削減に対する個々の意識を高めます。
産業廃棄物削減	×	○	消防法に対応するため使用できない塗料の廃棄が増加しました。調色すれば使 用できる塗料については使用し、引き続き廃棄量を削減していきます。
一般廃棄物削減	×	○	社内では施工管理・業務管理アプリを使用して情報共有に努め紙媒体での情報 保存の削減を進めています。また、分別の徹底に努めます。
水使用削減	○	○	使用量が微減したので引き続き節水に努めます。
化学物質削減	×	○	残塗料の使用を進めたので購入量は微減しました。 有機溶剤の使用量は増加したので注視していきます。

【周辺の変化の状況】

- ・ 外部コミュニケーション記録より 苦情はありません
- ・ 環境規制法規等の改定動向 ありません

〔代表者による見直し〕 変更の有無・指示事項

2024 年 7 月 10 日

近 藤 博 樹

【環境経営方針】

全従業員が環境意識を高め、環境負荷低減のため、化学物質含有率の低い塗料をお客様に提供するとともに、
事業活動から循環型社会に貢献する。

変更の必要性： 無

【環境経営目標・環境経営計画】

環境経営目標については未達成項目もあった。現場環境は工事内容により変わってくるが、次年度は全従業員に再度周
知徹底して、目標の達成を目指す努力をする。

変更の必要性： 無

【環境管理組織体制】

環境経営計画を継続して従業員に浸透させるべく現体制を維持し更なる維持向上を目指す。変更の必要性：

無

【環境経営システムの各要素】

環境経営システムの尚一層の理解を深め、全従業員の環境に対する意識を高める。

変更の必要性： 無

【総合評価及び見直し指示】

環境目標は未達成項目もあったが、現場環境は工事内容により異なるので、全従業員に再度周知徹底して目標値の達成
を目指していく。また、環境経営システムは有効に機能していると考えています。

10. その他

◎社会奉仕活動

公園清掃活動 2024 年 5 月 9 日



自転車道清掃活動 2024 年 5 月 18 日



◎節電・節水等表記



節電



節水



節ガソリン・軽油